

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

平成30年9月

(2) 評価の方法

本教育委員会事務局で事後評価を行った。

4. 総合的な所見

施設整備計画の事業について、耐震化の目標率を達成することができた。
防災機能の強化、学習環境の向上についても、大きな成果をあげることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

平成24年度道志小学校及び道志中学校の耐震診断を実施した結果、両校とも耐震性能が低いと判定された。以後耐震化方法について検討した結果、道志小学校については裏山が急傾斜地であり、学校敷地が警戒区域に指定されているため、中学校敷地に移転して改築し耐震化を図ることとした。中学校敷地については、中学校敷地へ両校一体的な施設として改築し、耐震化を図った。計画通り実施し、目標の耐震化率が達成できた。また、小規模校ならではの小中連携をより一層推進し、地域の防災拠点の役割も担っていることから地域住民の防災対策を強化することができた。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

中学校は平成27年～平成28年に解体済。また、小学校は平成30年度に解体予定。

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
道志中学校(Ⅰ期工事)	(1)	01	危険改築	校	R	H26.5～H27.11	H28.1.18		
道志中学校(Ⅱ期工事)	(1)	01	(財)地震改築	校	R	H25.5～H29.3	H29.3.24		
道志中学校(Ⅲ期工事)	(1)	01	危険改築	校	R	H28.2～H29.3	H29.3.24		
道志小学校(Ⅰ期工事)	(1)	03	不適格改築	校	R	H26.5～H28.3	H28.4.1		H30年度解体予定
道志小学校(Ⅰ期工事)	(1)	01	(財)地震改築	校	R	H25.5～H29.3	H29.3.24		
道志小学校(Ⅱ期工事)	(1)	01	危険改築	校	R	H28.2～H29.3	H29.3.24		
道志小学校(Ⅱ期工事)	(1)	03	不適格改築	校	R	H28.2～H29.3	H29.3.24		
道志小学校	(5)	01	小校	校	R	H28.2～H29.3	H29.3.24		
道志村唐沢体育館	(1)	28	社会体育施設耐震化	-	S	H25.10～H28.5	H28.5.31		